



せきかわ

関川村立関川小学校 学校だより 令和3年度 2号

教育目標

ゆたかな心

たくましい体

すすんで学ぶ

関川の子

全校地域探検から見たこれから ～新たな形での取組が求められている今～

校長 須貝 学



新型コロナウイルスや荒天などの影響によって、3年間実施できなかった全校の縦割り班による校外活動を「全校地域探検」という新しい形で実施しました。

当日は晴天にも恵まれ、6年生のリーダーを中心に、縦割り班で生き生きと楽しく活動する子どもたちの姿が見られました。結成したばかりのメンバー同士で交流を図り、絆を深めるという狙いを達成することができました。また、学校周辺にある身近な自然や文化に接しながら、地域の人との触れ合いをとおして、地域の良さを実感するという狙いもありました。活動後に子どもたちが書いた作文には、「みんなで活動できて楽しかった」「地域の良いところを知ることができた」など、肯定的な感想が多くあり、そのどちらの狙いも達成できたことを伺うことができます。

先日の新潟日報に掲載された記事でも紹介されていましたが、途中のチェックポイントにクイズがあったり、楽しい活動が組

み込まれていたり、以前の秋遠足の時とは違う内容の活動でした。

実施する時期も内容も大きく様変わりして生まれ変わった「全校地域探検」ですが、その変遷には、様々な理由がありました。大きいのは、子どもたちの健やかな成長につながる教育的な効果、そして感染禍にある現在、「今できることは何か」ということでした。

とはいえ年度初めは、県内の感染者も増加傾向にありました。校外に出たり、グループでの活動であったりということで、実施も危ぶまれていました。それでも、距離をとって歩く、途中でアルコールで手指を消毒するなど、感染対策をとりながら無事に行うことができました。

また、保護者の皆様からもボランティアとして、子どもたちの安全を見守っていただきました。参加してくださった保護者ボランティアの皆様、ご協力本当にありがとうございました。